

白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト

—No.40 白岡市—

【事業の目的】

当プロジェクトは、本市を中心に学校、企業、大学などと協働して、日頃の授業の中では得られない学びの場（「学ぶことに興味や関心を持つ主体的な学びの場」、「自己の考えを広げ深める対話的な学びの場」、「問題の解決策を考えたり、思いや考えを創造したりする深い学びの場」）を提供することで、子ども達が生きる力（情報化やグローバル化といった社会的変化への対応力や自ら考える力など）や豊かな感受性などを養い、将来、自らの可能性を発揮できる子ども達を育成することを目的として実施しています。

【事業の内容】

各年度単位で実施可能な事業を検討して実施しています。

平成29年度

- (1) 南摩ダム「水のふるさと見学ツアー」事業
- (2) スタート宣言事業（白岡市制施行5周年記念式典）
- (3) JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業
- (4) 白岡こども会議事業
- (5) 未来のキッズエンジニア事業
- (6) 市内企業見学会事業
- (7) こども・ゆめ・みらいプロジェクト応援動画制作事業

平成30年度

- (1) JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業
- (2) 未来のエンジニア事業
- (3) 市内企業見学会事業
- (4) ゆめまつり実行隊事業
- (5) りそなキッズマネーアカデミー2019事業
- (6) 企業版「夢先生」事業
- (7) 白岡こども会議事業

令和元年度

- (1) JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業
- (2) 未来のエンジニア事業
- (3) 市内企業見学会事業
- (4) ゆめまつり実行隊事業
- (5) りそなキッズマネーアカデミー2020事業

令和2年度

- (1) JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業

【事業年度】

平成29年度から令和3年度まで（5か年）

【予算額(千円)】

- 1,723千円（平成29年度）
- 1,500千円（平成30年度）
- 1,434千円（令和元年度）
- 1,076千円（令和2年度）

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

市では、第5次白岡市総合振興計画後期基本計画において、本市の抱える重要な課題に対して重点的に取り組む3つのプロジェクトを掲げました。

このプロジェクトの一つとして、市の未来を担う子ども達が、市に愛着と誇りを持ち、ずっと住み続けたいと思えるよう、子ども達の将来の夢と希望を市全体で応援・支援する取組として「白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト」を実施しています。

【事業のPRポイント】

各年度単位で、実施できる事業を検討し、企業や大学などと協働しながら事業を実施しています。

中でも、平成29年度の本プロジェクト始動年度から毎年実施している「JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業」は、元サッカー日本代表選手や元オリンピックメダリストなどが夢先生となり、子ども達に「夢」を持つこと

の大切さなどを教えてくれる事業で、市内全ての小学5年生を対象に実施しています。

参加した児童は、「夢」や「希望」を持つことができるようになったと好評です。

【事業実績・成果・今後の展開】

第5次総合振興計画後期計画において規定した本プロジェクトの実施期間は、平成29年度から令和3年度までとなっており、残り一年度を残すのみとなりました。

これまで、延べ約2,900名の児童及び生徒がこのプロジェクトに参加し、学校の授業だけでは味わえない貴重な体験機会が得られるとして、参加者をはじめ、保護者の皆様からも好評をいただいています。

子ども達が「夢」や「希望」を持つことを市全体で応援し、一定の成果を上げることができました。

今後は、更に市が一丸となって、市内の子ども達の明るい未来に向けて応援できるよう事業継続の可否について検討していきます。

【参考資料】

白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト事業実施実例

〔 連絡先 〕

総合政策部 企画政策課 政策調整担当

0480-92-1111（内線345）

白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト事業実施実例



元プロサッカー選手などが市内の各小学校に来校し、「夢」を持つことの大切さを子ども達に講義してくれる事業です。

例年、対面形式で実施してきた内容を令和2年度はオンラインによる方法で開催しました。

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業の様子

子ども達のキャリア教育に寄与することを目的に、学校も学年も違う仲間と意見を出し合い、「人前で自分の意見を発言する機会」を提供する事業です。

小学生から高校生までが一つのグループで、楽しみながら様々な意見を出し合いました。



白岡こども会議事業の様子



「普段何気なく見ているあの会社って何を作っているのだろう。」

子ども達の本市への愛着と、仕事への関心を高めるため、市内の企業に協力をいただき、普段なかなか見ることができない会社の内部を親子で見学できるツアーを開催しました。

市内企業見学会事業の様子